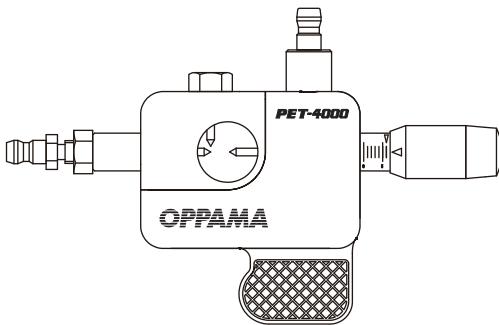


取扱説明書

PULSE
イグニション チェッカー
PET-4000

※品質保証書が含まれています



D. 使用方法

(1) アースを直接エンジンから取る場合(図-1)

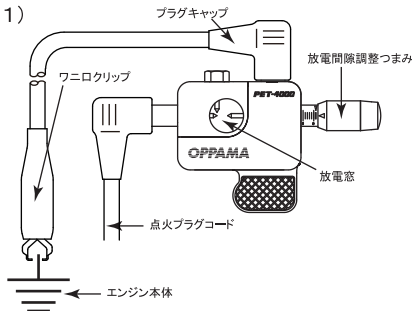
①PET-4000 本体の放電間隙調整つまみを回して、エンジンに合った位置にセットします。

(エンジンにより要求電圧が異なる為、目安として6mm程度)

②エンジンの点火プラグキャップを PET-4000 本体の高圧側端子に接続します。付属コードのプラグキャップを PET-4000 本体のアース側端子に接続し、ワニ口クリップを、エンジンにアースします。

③スタータを引いてクランク軸を回転させ、放電窓から見える火花の状態により、点火系統の良否を判定します。

(図-1)



品質保証書

本製品は厳密な品質管理のもとに製造し、品質検査に合格したことを保証いたします。

取扱説明書にしたがった正常な使用状態で、保証期間内(お買い上げから一年間)に故障した場合には、お買い上げの販売店または当社が無料で修理いたします。

ご氏名 _____ 様 TEL () _____

ご住所 _____

販売店名・住所 _____

お買い上げ
TEL () _____ 年月日 年 月 日

追浜工業株式会社
〒237-0061 神奈川県横須賀市夏島町 14-2
TEL 046-866-2139 FAX 046-866-3090
E-MAIL : info@oppama.co.jp
ホームページ : http://www.oppama.co.jp/

(2) アースを点火プラグから取る場合(図-2)

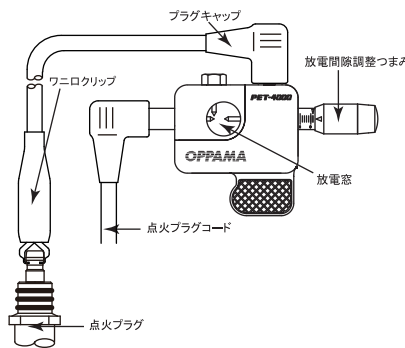
①PET-4000 本体の放電間隙調整つまみを回し、エンジンに合った位置にセットします。(エンジンにより要求電圧が異なる為、目安として4mm程度に合わせます。但し、間隙が開きすぎると、イグニションコイルに負担がかかり、故障の原因になる恐れがあるのでご注意ください。)

②エンジンの点火プラグキャップを PET-4000 の本体の高圧側端子の接続します。付属コードのプラグキャップをPET-4000本体のアース側端子に接続し、ワニ口クリップを点火プラグに接続します。

③スタータを引いてクランク軸を回転させ、放電窓から見える火花の状態により、点火系統の良否を判定します。

※このときエンジンが始動することがありますので注意してください。

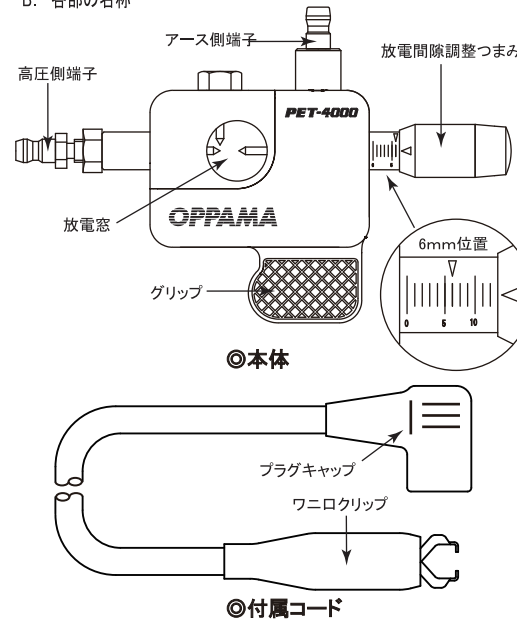
(図-2)



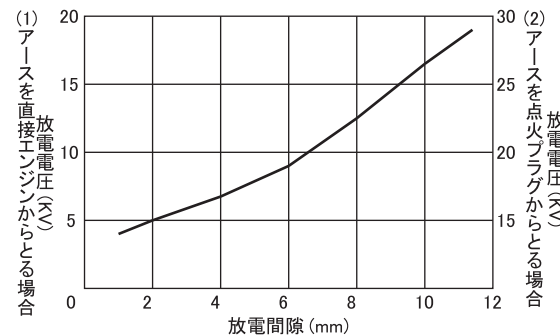
A. 本機の機能

- ・本機は、ガソリンエンジン点火系統の故障診断機です。
- ・エンジンからマグネトー装置を取り外すことなく、簡単に故障の診断ができます。

B. 各部の名称



E. 火花放電電圧の特性曲線



警告・注意

- ※重要：放電間隙を必要以上に開けないでください。イグニションコイルに負担がかかり、故障の原因となる恐れがあります。
- ※重要：ワニ口クリップをスパークプラグに接続しテストする場合、長時間の使用は避けてください。接続したままエンジンを運転していると、エンジンの熱により、保護ビニルが溶ける場合があります。
- ※重要：放電間隙調整つまみを必要以上に締め込まないでください。電極を破損する恐れがあります。
- △注意：高電圧がかかりますので使用中は放電窓、高圧側端子、低圧側端子に触れないようにしてください。

C. エンジン不調時の火花状況によるエンジンの点検方法

火花状況	不良箇所	原因	処置	
火花が完全に飛ぶとき	点火プラグ等	マグネトーは異常なく点火プラグの故障です	修正または交換	
火花は飛ぶが非常に弱いとき	点火コイル	絶縁低下又はレアショート	交換	
		断続器関係	接点の汚損、荒れ	修正または交換
			点火ギャップ不良	修正または交換
	カムホローアー摩耗	交換		
アームと軸のガタ	交換			
コンデンサ	絶縁不良又は断線	交換		
全く火花が出ないとき	磁石関係	減磁	交換	
		配線関係	キースイッチ不良	修正または交換
	ストップスイッチ不良		修正または交換	
	点火コイル	絶縁低下又はレアショート	交換	
		内部配線不良	交換	
	断続器関係	点火ギャップなし	修正	
接点脱落		交換		
接点面汚損または異物かみこみ	修正			
コンデンサ	内部ショート又は断線	交換		

MEMO

